

vol.
029

障害社通信

2024年
1月号

謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に、この度の令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被害を受けられた皆様の安全と1日でも早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

パーソナルアシスタント相模原を相模原SDGsパートナーとして登録

先日、パーソナルアシスタント相模原は、相模原市の相模原SDGsパートナーとして登録を致しました。相模原市による相模原SDGsパートナー制度は「企業、NPO、団体、教育機関、行政等がSDGsを起点に連携を深め、豊かな自然環境とにぎわいのある街を次世代につないでいくための取組を進めるため」そして「一人ひとりの行動変容を促し、SDGsの目指す『誰一人取り残さない』持続可能な社会を実現するために、連携してSDGsの普及啓発に取り組むため」が目的であります。（相模原市HPより抜粋）

このような目的を実現するために、当社も相模原市と一緒にSDGsに取り組んでいきたい！！と考えて登録を行いました。（写真の通り、相模原市本村健太郎市長より直接登録証をいただきました）



弊社では、従来よりSDGsの考え方に賛同し「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」「目標10：人や国の不平等をなくそう」「目標4：質の高い教育をみんなに」「目標8：働きがいも経済成長も」「目標11：住み続けられるまちづくりを」という5つの目標を中心として、SDGsに積極的に取り組み、ゴールを目指しております。

今後はSDGsなどの活動を通して、障害を持った方が地域で自分らしく生活できるような理想の障害福祉を追求し、共生社会の実現に向けた取り組みを進めていけたらと思っております。

「災害時における障害者の避難方法と避難場所」セミナー参加

12月17日に全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部主催のセミナー「災害時における障害者の避難方法と避難場所」に参加してきました。講師は神奈川県福祉こども未来局の岩下氏と湘南医療大学保健医療学部の下田氏の2名にご登壇いただいたの講義でした。

岩下氏からは要配慮者の支援について神奈川県を取り組みを説明していただきました。印象深かったのは公助と自助の話で、神奈川県職員という立場からの説明のため「どうやって守ってもらえるか」即ち「公助がどうなっているのか」という内容に注目していたのですが、冒頭で「実は公助を受けられる可能性はそんなに高くなく、いかに自助を考える事が重要との話が印象的でした。確かに我々が努力しても公助を受けれる保証や確率は上がり、それであれば自身における避難経路や場所の把握、備蓄の確保などを行った方がよっぽど自らのことを守れるかなと、考えさせられました。

後半の下田氏のお話の中では岩下氏と話が同じ領域でありつつも支援者と防災という視点が追加されていてこちらもとても考えさせられました。支援者といわれる人であっても「自分の身や家族の身を優先させる事」が基本的な考えであるとのことで、例えばヘルパー職の方が勤務中に、利用者と共に被災したとしたら、ヘルパー職の方は家族の身を案じて、利用者を放ってでもその場を離れることが正しいのか・・・、難しい問題ですね。支援者と「もしもの時」のコミュニケーションを事前にとる事の重要性も感じた時間でした。そんな状況になっている人は多いのではないのでしょうか。障害を持つ方は、自助が難しい状況だからこそ有事に備えて今から準備していきましょう。



つばめ通信

資格講習事業所つばめの小田嶋です。

このたびの能登半島地震により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、今月号では最近の資格講習事業所つばめの活動についてご紹介させていただきます。

●ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業

海外から留学中の研修生たちに「車いす研修」を小田嶋が担当させていただきました。自らも障害を持つ彼らは、後に母国に戻り各々福祉の貢献活動をされるそうです。逐次通訳と手話通訳の方に挟まれた緊張で私の日本語が一部カタコトになりつつも、皆さん笑顔で真剣に聞いてくださりとても充実した時間でした。

●つばめ出張研修「虐待防止・人権擁護」

最近では、地域の福祉事業所さまから標題の出張研修のご依頼をよくいただきます。担当講師は神奈川県立の福祉施設であるやまゆり園での勤務経験もあり行動障害のある方の支援や研修に長年関わっている者です。虐待防止、人権擁護に関する出張研修をご検討されている企業や事業所さまは、お気軽に下記担当者までご相談くださいませ。

つばめでは上記のような出張研修のほか「重度訪問介護従業者養成研修基礎追加課程」「行動障害支援課程」「喀痰吸引等第3号研修」などを行っております。詳しくは下記担当者までご相談くださいませ。

【資格講習事業所つばめ】

TEL：042-850-9141／FAX：042-850-9142

e-MAIL：tsubame@shogaisha.co.jp(担当：小田嶋)



竹田本部長のタケログ

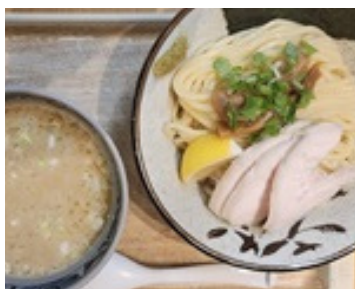
～車椅子で行ける美味しいお店～

今回ご紹介するのは、麺好きの私が出会ったつけ麺の美味しいお店です。

○纏 高幡不動店(鶏塩つけ麺)

高幡不動駅に行く機会があり、駅周辺を散策していると美味しそうなラーメン屋さん「新橋 纏(まとい)」を発見。入り口に段差はなく店内は車椅子で入れるだけの広さがあり、テーブル席もあります。お腹が減っていた私は早速店内に。メニューは「つけ麺」「中華そば」「まぜそば」の中に、鶏白湯系・煮干し系・辛い系と色々な種類がある中で、今回は「鶏塩つけ麺」を注文。麺は中太ストレートでモチモチとしたほどよい弾力。鶏白湯ベースのつけ汁は、少し酸味があり、鶏の旨み・コクもしっかりと感じられます。途中レモンを搾ってさっぱりさせたり、ゆず胡椒を混ぜて味変ができるなど、飽きさせない工夫もされています。

つけ麺が好きな人にはお勧めしたいお店です！



秋の紅葉コンテスト結果発表

当社では毎年紅葉の時期に「紅葉写真コンテスト」を行っており、当社Facebookに写真を掲載して「いいね」数を競います。今回は昨秋に募集した紅葉写真コンテストの大賞受賞者と写真をご紹介します。

(今回は「いいね」数同数で2名受賞となりました)

【大賞】廣田卓未(写真左下)

【撮影場所】花の都公園(山中湖)

【タイトル】照紅葉

【大賞】藤田 修幸(写真右下)

【撮影場所】上野公園内 国立西洋美術館前

【タイトル】考える人のやる気スイッチ

今回も多数のご応募ありがとうございました！！

春には桜の写真コンテストの開催を予定しておりますので、皆様奮ってご応募ください！！



当事者スタッフのリアルな生活をSNSで紹介しております。下記QRコードからご覧ください！！



facebook Instagram

障碍社通信について、みなさまのご意見をお聞かせください！！



株式会社障碍社

〒193-0013

東京都町田市原町田4-18-6 マーブルパレス101

TEL：042-850-9141／FAX：042-850-9142

MAIL：info@shogaisha.co.jp

障碍社HPは
こちらの
QRコードから

